



# 目に見えない貯金



A子「先生、ごめんなさい。友だちを転ばしてしまいました。」  
先生「わざとじゃないんですよ。何があったの？」

A子さんが涙で訴え、先生がそれに答えています。  
友だちを転ばせてしまったらしいです。  
先生も、優しく対応しています。

続いて、下の絵を写しました。



B男「先生、ごめんなさい。友だちを転ばしてしまいました。」  
先生は、次のように答えました。



B男「先生、ごめんなさい。友だちを転ばしてしまいました。」  
先生「詳しく話してみなさい！！」

先生の態度がずいぶん違いますね。  
これは、なぜでしょう？

最初はみんなポカンとしていましたが、その内に子どもたちは推理を始めました。

「Bくんが前にも何回か転ばしていたんじゃない？」と予想を立てたり、「先生が注意したすぐ後の出来事だった」と想像を膨らませた子もいました。

予想が出尽くしたところで、次の画面に移りました。

Aさんが普段していることがズラリと画面に並んでいます。

 A子さん

あいさつをする		
落ちているゴミをサッとひろう		
そうじも一生懸命		
話をきちんと聞く		
一人の子に声をかけて遊んでいる		

あいさつをする、ゴミを拾う、話をよく聞いていて、人に優しい…。

Aさんはどんな子ですか？

「優しい子です。」「すごくいい子。」

「友だちに親切にしている子。」

続いてはBくん。

 B男さん

元気がいい		
	廊下をいつも走る	
	悪口をよくいう	
	都合が悪いと嘘をつく	
	友だちいじめ	

元気がよくて、廊下をいつも走り、悪口や嘘が多くて、友達をいじめる…。

Bくんはどんな子ですか？

「元気だけど嘘つきっぽい。」  
「友だちをいじめる悪い子。」

一通り見終えた時、  
「だからか～」  
と声を上げる子たちがいました。  
先生の対応が違った理由が分かったようです。  
ポイントは、転ばしたことなく、「普段の行い」にあったのです。  
私たちは、目に見えないある貯金を持っています。



これを「信頼」といいます。  
信頼とは目に見えない貯金です。  
少しずつ貯まっていくものなので、信頼貯金と言います。

それでは、AさんとBくんの信頼貯金を見てみましょう。  
まずはAさんからです。  
画面に行動と目安の価格を表示させていきました。

A子さんの信頼貯金

良いこと	悪いこと	信頼貯金
あいさつをする		500
落ちていたゴミをサッとひろう		1500
そうじも一生懸命		3000
話をきちんと聞く		5000
一人の子に声をかけて遊んでいる		7000

けっこうな貯金額です。

「だから先生も優しく聞いたんだね」と改めて反応する子もいました。

どんな行動をするとたまるんですか？

「良い行動です。」

「やさしい行動。」

続いてBくん。

金額を表示させるたびに、「うわ〜」と声が上がりました。



B男さんの信頼貯金

良いこと	悪いこと	信頼貯金
元気がいい		500
	廊下をいつも走る	-300
	悪口をよくいう	-2000
	都合が悪いと嘘をつく	-1000
	友だちいじめ	-5000

どんな行動をすると信頼貯金が減りますか？

「悪い行動です。」

「人を傷つける行動。」

信頼貯金が高いと、信用してもらえるんですね。

人のことを考えた  
行動をすると、  
信頼貯金がたまる

もう一度聞きます。どんな行動をすると、信頼貯金がたまるんですか？

「人のことを考えた良い行動です。」

こうやって、人のためにしていることが巡り巡って自分に返って来るという意味のことわざがあります。

「情けは人の為ならず」といいます。

このことわざは本当でしょうか。

本当にいいことをすると自分に返って来るのでしょうか？

このことを実験によって証明した大学があります。  
大阪大学です。

最新研究成果リリース

## 「情けは人の為ならず」を科学的に実証

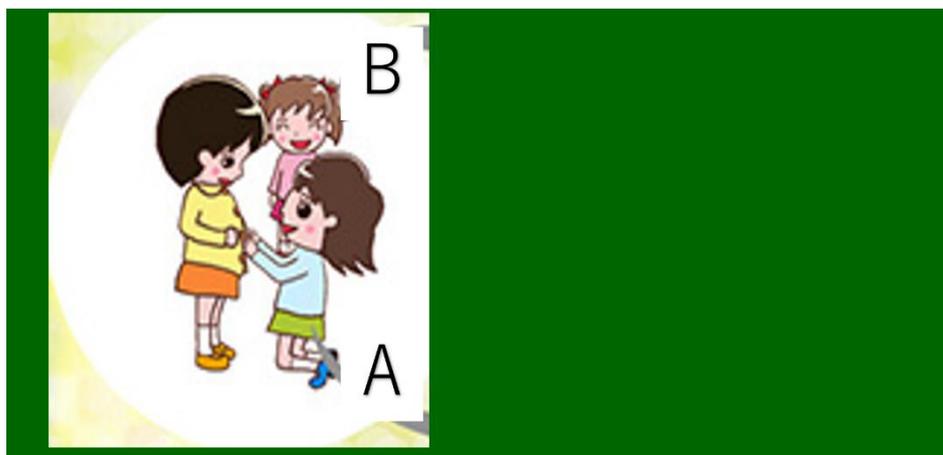
— 親切が広く交換される仕組みを幼児の日常生活で初めて確認 —

2013年8月8日(木)

### リリース概要

大阪大学大学院人間科学研究科の清水真由子特任研究員、大西賢治助教らの研究グループは、ヒ

「えーすごい！」と驚きの声が上がりました。  
先人の知恵に、科学の研究が追いついてきたのです。  
実験の様子です。

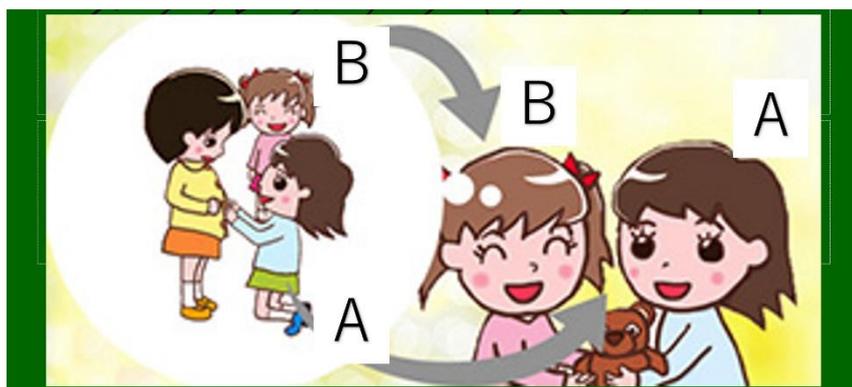


ある時、Aさんが友だちのボタンを留めるのを手伝ってあげていました。  
いいことをしています。  
その姿をBさんが見ていました。

すると、BさんはAさんに何をしたでしょう？

「優しくした。」

「親切にした。」



BさんはAさんにおもちゃを貸してあげました。

自分が直接親切にしてもらったわけではないのに、優しい行いをしているAさんに好意を寄せたそうです。

もちろん、ボタンを留めた子からもAさんは親切にしてもらいました。人は優しくされると、自然と恩返しをしたくなるからです。

親切にすると、親切な行動が〇倍も返ってくるという研究結果がでました。

何倍くらいだと思いますか？

「2倍」

「3倍くらい？」

3倍も返って来たら凄いですよね。

これは、実は12倍なのです。

「人は親切な人に親切にしたいくなる。」

このことが、研究によって証明されたのです。

これは、別に子どもの世界に限ったことではありません。

中学校でも高校でも、大人になって働く時でも、同じことがいえます。

信頼貯金が多い人は信用されます。

信頼貯金が多い人は親切にされます。

そして、自分のした親切な行いは、巡り巡っておよそ12倍になって返ってきます。

この後、教室では「信頼貯金タイム」を取りました。

みんなイキイキと、教室の中で思い思いの親切な行動をとっていました。

とても、美しい姿でした。(文責：渡辺道治)

[1学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ\(google.com\)](http://1学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ(google.com))